

いのちを見つめた1ヶ月 (小佐々っ子だより番外編) H29. 6. 30

～小佐々中学校のいのちを見つめる強調月間を終えて～

① 校長講話



6月1日はいのちを見つめる日。この日は校長先生からいのちを見つめる日があることのわけを教わりました。そして、自分たちの今がしあわせなのかを考えました。自分と友だち。かけがえのないもの。

**6月19～23日
学校公開週間**

どの授業でも参観できるようにしました。保護者・地域の方に来ていただきました。

② 道徳授業参観

各学年学級で道徳の授業を行いました。テーマは『いのちと関わる』いのちとどう向き合うか。関わるのか。教師も子どもも真剣でした。



③ いのちの講話



黎明館次長 永田 薫様を講師として『いのちと関わる』をテーマに講話をいただきました。高齢者福祉に関わられる中で、人生の終末を迎えること・老いること・世代の違う人とのコミュニケーションの難しさをお話いただきました。最後の詩に心打たれた時間でした。

④ 議場体験・市議会傍聴・生徒総会



3年後中学3年生は選挙権を持ちます。民主的な政治について、議会について考える機会になりました。

⑤ 平和集会



72年前の6月29日。佐世保空襲がありました。尊い命が一度に奪われたことを佐世保史談会の方から教えていただきました。

⑥ 地区懇談会



楠栖小学校区3地区・小佐々小校区4地区に分かれて、PTA主催のもと、小中合同で行いました。学校・地域・保護者が一堂に会して、子どもたちの生活や安全等に対して貴重なご意見をいただきました。

*詳細については、ホームページでご覧になれます。ぜひとも小佐々中学校ホームページをご覧ください。